

事業計画書

■当初 □最終

作成年月日	2022年4月28日
法人名	株式会社トータルウィン
代表者職名前	代表取締役 藤岡 秀行
担当者名	連絡先

1 協議事項	事業種別	就労継続支援B型	事業所名	久遠チョコレート福山	開設(変更)予定日	2022年9月1日
--------	------	----------	------	------------	-----------	-----------

協議の種類	計画の概要	本計画書に記載が必要な項目														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
□ 新規事業所の開設	□ 共生型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 事業の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 定員の変更	□ 共生型サービス以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 就労継続支援A型	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 大幅な事業内容の変更	□ 共同生活住居の追加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 上記以外	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 事業所の移転	□ 多機能型サービス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 新築予定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 建物の構造・設備の変更	□ 実備・自己所有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 現在地	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
□ 施設の構造・設備の変更	□ 施設整備を伴う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	□ 施設整備を伴わない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2 事業実施に係る動機

別紙(事業実施に係る動機)参照

3 提供サービス

種別	割合	70%	提供日
① 放課後等デイサービス	割合	70%	提供日
② 児童発達支援	割合	25%	提供日
③ 保育所等訪問事業	割合	5%	提供日

理念 「すべての人々がそれぞれの人生を豊かなものにする」
働くことにより誇りを持ち、「楽しい・できた」を感じることができるとの意欲につながる。自分らしく働くことで、社会の中で人とのつながりを持ち、人生をより豊かに生きることが目標です。

目標 ○働きたいと願う多様な方々が力を合わせてチョコレートを作り、一般市場で収益を上げていく事でより多くの工賃の支払いを目指す。
○久遠チョコレート福山で働く中で自分に合った働き方や生活においての様々なスキルの向上を目指し、当法人内他事業所での一般就労。一般就職においても、支援を受けながらの自立につながる力を身に付ける事が出来るよう支援する。

同種のサービス

4 施設の概要[平面図は裏面のとおり]

土地	所在地	福山市駅家町大江長26番1	用途区域	市街化調整区域	意見		
所有者	名称	久遠チョコレート福山	抵当権	あり	・本件は、都市計画法第29条第1項の許可に基づく開発行為の完了公告があった土地において、予定建築物以外の用途に変更するもので、同法第42条第1項但し書きに規定する許可を要しますが、既に許可済であり都市計画法上の手続きは完了しているため支障ないものです。 ・就労継続支援B型の建築基準法上の用途は「児童福祉施設等」に該当しますが、用途を変更する床面積が200㎡以下のため、建築基準法上の手続きは不要です。手続きが不要な場合であっても、建築士等に相談し、建築基準法に適合する計画としてください。		
	所有者	構造	木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建				
建物	用途	就労継続支援B型	階	1階	建築年	2015	年
	階層	1	地上	1	階	地下	0
建築面積	延面積	153.01	延面積	148.05	㎡	㎡	
	種別	就労継続支援B型					
①	手続	新規	使用する階	1階	専有面積	85.2	㎡
	収容人員	26	人	内訳	職員	6	人
②	手続	使用する階	階	専有面積	㎡		
	収容人員	人	内訳	職員	人	利用者	人
③	手続	使用する階	階	専有面積	㎡		
	収容人員	人	内訳	職員	人	利用者	人
内容	申請種別	□ 新築 □ 増築 □ 用途変更 □ 移転 □ その他					
	現在、クリーニング店をチョコレート販売店に改修しており、店舗として(就労支援)利用する。用途変更許可済(菓子製造販売として、許可。就労継続支援事業も兼ねる旨も協議済み)						

5 主要取引先

上段:取引先	下段:所在地	割合	掛取引	回収・支払の条件	意見
		%	%	日 〆	日回収
		%	%	日 〆	日回収
		%	%	日 〆	日回収

6 従業員

職種	雇用形態	名前	年齢	月給	意見				
管理者	常		52	26	・職員のうち就労支援の経験者は何人いるか。				
サービス管理責任者	常		52	万円					
職業指導員	常 □ 非常		26	26					
生活支援員	常 □ 非常	A		18					
職業指導員	常 □ 非常	B		8.5					
職業指導員	常 □ 非常	C		8.5					
生活支援員	常 □ 非常	D		8.5					
	常 □ 非常			万円					
	常 □ 非常			万円					
	常 □ 非常			万円					
月給計				95	万円				
人件費	末日	15	日	支払	ボーナス	6	月	12	月

様式第2号-1

受理	4月28日
関係者への意見聴取	■ 市 建築指導課
	消防局予防課
	開発指導課
	■ 福山市障がい福祉サービス等の指定に係る懇話会
回答	8月10日

7 借入金の状況

金融機関	理由	借入残高	年間返済額	意見
		万円	万円	
		万円	万円	
		万円	万円	

8 必要な資金と調達方法

必要な資金	金額	調達方法	金額	意見
土地	0	補助金	0	
建物	1225	自己資金	3095	
設備	407	借入金	0	
車両	0			
その他	540			
運転資金	923			
合計	3095	合計	3095	

9 事業の見通し

	1月目	2月目	3月目	1年後	意見
利用者見込 A	6	6	6	12	・生産活動で売上高に対して経費率が15.4%となっているが、内訳は原材料費、包装資材等か。 ・事業実施に係る動機では「低工賃からの脱却」と書かれているが、収支予算書では一月平均11,000円と就労継続支援B型事業所の平均工賃を大きく下回っている。「低工賃からの脱却」をめざす計画とすること。 ・FC展開としているが、それに係る経費負担は生じるか。生じるとしたら収支予算書のごとくに記入しているか。 ・久遠チョコレートは高価格の商品で、月2600個の製造となっているが、販売先の具体的見通しはたっているか。
月平均利用額 ※1 (1人当たり)	12.4	12.4	12.4	12.4	
収入計 ①	0	0	74.4	136.4	
支出計 ②	149	149	149	149	
収支 ①-②	-149	-149	-74.6	-12.6	
収入 B	7.8	7.8	7.8	15.6	
売上高 ※3	7.8	7.8	7.8	15.6	
支出 C	7.8	7.8	7.8	15.6	
利用者賃金	6.6	6.6	6.6	13.2	
必要経費	1.2	1.2	1.2	2.4	
最賃確保状況(A型)	0	0	0	0	
((B-C)/25)/8/A					

※1 月平均利用額(1人当たり)の積算根拠
基本報酬(サービス費)全全ての加算について記載すること
基本報酬(1)566単位(経過措置区分・1万円未満の区分)+福祉専門職配置加算(1)15単位+処遇改善加算(1)32単位+特定処遇改善加算(1)10単位 計623単位 平均20日/月利用

※2 給付費は、サービス提供月の翌々月に振り込まれるので留意すること(例:4月サービス提供→5月請求→6月振込)

※3 主な受注作業取引先(生産活動を行う場合に記入)

上段:受注先	1月当たりの受注額	契約書の有無	回収・支払いの条件
下段:所在地	万円	あり □ なし	

※3 主な事業所内生産品(生産活動を行う場合に記入)

生産品	1時間単価	計算式	1月当たりの生産額
チョコレートの製造	150	円 × 3 H × 20 日 × 6 人 =	5.4 万円
チョコレートの梱包	100	円 × 2 H × 20 日 × 6 人 =	2.4 万円

※4 諸経費:消耗品, 光熱水費, 車両管理費, 研修費, 宣伝広告費, 租税公課, 社会保険料, レンタル料等

10 付近図

小学校区 駅家小学校 人口 11,201 人 事業所数 1 事業所 利用定員 20 人	意見
凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先	
付近図掲載せず	

11 平面図

※平面図のデータを貼付	意見 ・収容人員26人となっているが、図面上どの場所で昼休憩、昼食等をするか。 ・通所、朝礼、着替え、作業それぞれを衛生的に行うエリア確保はどのようになっているか。 ・利用者、職員が作業服に着替える更衣室、ロッカーが必要ではないか。 ・工程ごとに区切られた作業台が多くあり、環境整備されているが、それぞれの場所で何をどのようにするか、場所と工程内容を記すること。 ・衛生面において、それぞれの場所に手洗いシンクが必要ではないか。 ・製造に使われる容器等の消毒・乾燥機などは業務用が必要ではないか。 ・車椅子の利用者のトイレはどうするか。 ・支援度の高い利用者の排泄の失敗の対処としてシャワー室は必要ないか。
<h1>別紙参照</h1>	

12 事業計画

定員 20名 休業日 水 年末年始 営業時間 9:00~18:00 サービス提供時間 9:30~16:30 (1) 生産活動 (予コロールの製造・包装・梱包) (2) 生産効率の向上を図る為、指し書の工夫・適性に応じた生産内容や考慮 (3) 就業支援 (4) 適性に応じた作業内容により働く意欲の向上を図る。 (5) 働く上で基本的なルールや必要な知識・技能の習得を図る。 (6) 生活支援 (7) 日常生活に必要な基本的知識や対人関係のスキルの向上を図る。 (8) 職場定着のための支援 (9) 本人の状況や環境に配慮しながら、相談・助言等の支援を行う。 (10) 地域生活支援 (11) 地域生活を送るうえで、必要な社会資源について助言等を行う。 (12) 地域連携支援 (13) 相談支援事業所、特別支援学校・一般高校等と連携を行い、ニーズの収集や新規ご利用者の習得を図る。 (14) 高校や専門学校等と連携を図り、将来福祉を希望する生徒を対象にしたインターンシップ研修の充実を図る。 (15) その他 (16) フランチャイズでチョコレート製造販売を行うため、製造販売の研修をうけた職員がマニュアルに従い指導する。工程を細分化しているため、利用者に合わせて工程を割り振っている。 (17) SNS等を利用し多方面からの集客を行う。また法人需要を取りこむための営業活動を行っている。 (18) 夏季の製品管理は室温管理をおこない、冷蔵庫/冷凍庫を使用する。 (19) 売り上げが落ちる時期について、製品は日持ちするのでストック用に製造を行う。他店納品用の商品も製造する予定。また、夏季用商品もあるため製造商品を変えていく。 (20) 保健所の許可は開始前に得る予定でスケジュールを組んでいる。	意見 ・福祉事業の経験を活かした事業運営とすること。
--	-------------------------------

13 利用者処遇

(1) 社会生活力をつけるための支援 ○ 基本的な生活習慣・生活マナーを身に付けられるよう支援する。 ○ 協調性を養い、周りの人とのコミュニケーションスキルの向上につながるよう支援する。 ○ 各種申請や手続き等について支援する。 ○ 心身の健康管理や生活上の不安・心配事の解消のため相談を受け、必要に応じた助言を行い、関係機関との連携を図る。 ○ ご利用者の心身の状況や環境に応じて、送迎等通所についての支援を行う。 (2) 作業を通して自分の得意なことや苦手なことを知り、働く力を伸ばしていくための支援 ○ 一人一人の能力や特性に合った作業の提供 ○ 新しい作業にチャレンジできる機会を設け、就労への意欲を高める。 ○ 作業工程や注意点についてわかりやすく提示し、正確に作業が出来るようするなど細やかな配慮や支援を行う。 ○ 作業を継続することで、就労への意識が高まるよう支援する。 (3) 自分に合った働き方を見つけることが出来るよう支援する。 ○ 関係機関との連携を図りながら、就労への意欲の継続と自立した生活に向けての意欲につながるよう支援する。 (4) その他 ○ 自力での通所が困難な利用者については送迎車で送迎を行う。 ○ チョコレート製造が合わない利用者については、自社別施設での営繕などを検討している。	意見 ・利用者が取り組んだ作業がどうなっていくか全体がわかり、働くことの意味付けができるような工夫をどのようにしているか。 ・B型事業所で作業のみの活動は利用者の負担にならないか。それぞれの特性や課題に対する多様な取り組みが必要ではないか。 ・利用者の生活の困りごとや家族支援等に対応する職員体制は整っているか。 ・作業を通して、どのような利用者が、何を学び、どのようにステップ・アップしていくことを目指しているか、事業所の支援におけるビジョンを記載すること。
---	--

14 防災計画

・津波浸水対策 ・非常時災害避難対策 職員に対しての非常時対策訓練、定期的な避難訓練の実施	意見
--	----

15 一日の流れ

9時 30分 ~ 10時 00分	朝礼
10時 00分 ~ 10時 45分	作業(15分休憩)
11時 00分 ~ 11時 50分	作業
11時 50分 ~ 12時 50分	昼休憩
12時 50分 ~ 13時 35分	作業(15分休憩)
13時 50分 ~ 14時 35分	作業(15分休憩)
14時 50分 ~ 15時 35分	作業(15分休憩)
15時 50分 ~ 16時 30分	作業

10 付近図

小学校区 駅家小学校	人口 11,201 人	事業所数 1 事業所 利用定員 20 人	主な修正点
付近図掲載せず			凡例 ○ … 事業所 × … 同種の事業所 △ … 一次避難先 □ … 二次避難先

11 平面図

※平面図のデータを貼付	主な修正点
別紙参照	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休憩・昼食・更衣は相談室・事務室を活用して行う(業務に支障ないように) ・通所は風除室ドアより行い、朝礼は更衣後厨房内で行う ・ロッカーは風除室ドア近くに配置する(図面表記) ・工程内容の細かい内容については守秘義務があるが、基本的に菓子厨房で調理、セットアップで梱包など行う ・それぞれの場所に手洗いシンの設置は難しいが、手洗いを徹底するよう気を付ける ・食器乾燥機の業務用配置はないが、食材の温度管理等、各種感染対策を行う ・重度身心障がい者の利用者(リクライニング車いす活用)の利用は想定していないが、介護福祉士を配置しており、介護技術を活用し、既存のトイレを活用することができる ・シャワー室の設置は今のところ考えていないが、事業を推進していく中で、検討したい

12 事業計画

定員 20名 休業日 水 年末年始 営業時間 9:00~18:00 サービス提供時間 9:30~16:30 ①生産活動(チョコレート製造・包装) <ul style="list-style-type: none"> ○製造工程において、ご利用者の意向や適性に応じて行う ○生産効率の向上を図る為、指示書の工夫・適性に応じた生産内容や構成 ②就労支援 <ul style="list-style-type: none"> ○適性に応じた作業内容により働く意欲の向上を図る。 ○働く上で基本的なルールや必要な知識・技能の習得を図る。 ③生活支援 <ul style="list-style-type: none"> ○日常生活上必要な基本的知識や対人関係のスキルの向上を図る。 ④職場定着のための支援 ○本人の状況や環境に配慮しながら、相談・助言等の支援を行う。 ⑤地域生活支援 ○地域生活を送るうえで、必要な社会資源について助言等を行う。 ○様々な活動を通して、充実した生活や生きがいづくりの支援を行う。 ⑥地域連携支援 <ul style="list-style-type: none"> ○相談支援事業所、特別支援学校(一般高校等)と連携を行い、ニーズの収集や新規ご利用者の習得を図る。 ○高校や専門学校等と連携を図り、将来福祉を希望する生徒を対象にしたインターンシップ研修の充実を図る。 ⑦その他 ○フロンチャイズでチョコレート製造販売を行うため、製造販売の研修をうけた職員がマニュアルに従い指導する。工程を細分化しているため、利用者に応じた工程を割り振っていく。 ○SNS等を利用し多方面からの集客を行う。また法人需要を取りこむための営業活動を行っている。 ○夏季の製品管理は室温管理をおこない、冷蔵冷凍庫を使用する。 ○売り上げ等に関する時期について、製品は自持するものでストック用に製造を行う。他店舗品用の商品も製造する予定。また、夏季用商品もあるため製造商品を変えていく ○保健所の許可は開始前に得る予定でスケジュールを組んでいる。 	主な修正点
	・福祉事業の経験を活かした事業運営とします。

13 利用者処遇

①(1)社会生活力をつけるための支援 <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣・生活マナーを身に付けられるよう支援する。 ○協調性を養い、周りの人とのコミュニケーションスキルの向上につながるよう支援する。 ○各種申請や手続き等について支援する。 ○心身の健康管理や生活上の不安・心配事の解消のための相談を受け、必要に応じた助言を行い、関係機関との連携を図る。 ○ご利用者の心身の状況や環境に応じて、送迎等通所についての支援を行う。 ②(2)作業を通して自分の得意なことや苦手なことを知り、働く力を伸ばしていく為の支援 <ul style="list-style-type: none"> ○一人一人の能力や特に合った作業の提供 ○新しい作業にチャレンジできる機会を設け、就労への意欲を高める。 ○作業工程や注意点についてわかりやすく提示し、正確に作業が出来るようするなど細やかな配慮や支援を行う。 ○作業を継続することで、就労への意欲が高まるよう支援する。 ③(3)自分に合った働き方を見つけることが出来るよう支援する。 ○関係機関との連携を図りながら、就労への意欲の継続と自立した生活に向けての意欲につながるよう支援する。 ④(4)その他 ○自力での通所が困難な利用者については送迎車で送迎を行う。 ○チョコレート製造が合わない利用者については、自社別施設での勤務などを検討している。 	主な修正点
	・チョコレート製造ラインから、販売店舗内がみえる事が出来る間取りになっているため、自分が携わっている商品について、製造工程~パッケージ~陳列~販売までが目に見える形で把握することができる。また、実際のお客様が購入する場面に触れることが就労意欲へ繋がっている。 ・店舗休業日には在庫作りだけでなく、余暇を楽しめるような行事を行うなど予定している。行事を通して利用者同士の交流の場を設けるなど。 また、同法人で行っている他事業(放課後等デイサービス)との共同行事の開催なども予定している。 ・定期的な面談の場を設けるだけではなく、日ごろから電話やメールなどを使用し、小まめなコミュニケーションをこころがけ、日々の困り事だけではなく信頼関係を気づくことに努める。(利用者本人だけではなく、ご家族も含む) ・自分の得手不得手を把握し、不得手なことへの工夫や代替えを学び、自分に合った働き方を身につける事が出来るよう支援を行う。 作業内容に応じた工夫基準を設け(様々な視点を加えて)、利用者本人も目に見える形で達成感を感じる事が出来、就労先評価と本人のモチベーションにつなげ、将来的な一般就労に向けての支援を行う。

14 防災計画

・津波浸水対策 ・非常時災害避難対策 職員に対しての非常時対策訓練、定期的な避難訓練の実施	主な修正点

15 一日の流れ

9時 30分 ~ 10時 00分 朝礼	主な修正点
10時 00分 ~ 10時 45分 作業(15分休憩)	
11時 00分 ~ 11時 50分 作業	
11時 50分 ~ 12時 50分 昼休憩	
12時 50分 ~ 13時 35分 作業(15分休憩)	
13時 50分 ~ 14時 35分 作業(15分休憩)	
14時 50分 ~ 15時 35分 作業(15分休憩)	
15時 50分 ~ 16時 30分 作業	